

豊かな自然のなかで楽しみながら健康づくり



所在地	福井市真栗町47-48		
設置年月日	平成6年7月1日		
施設の種類	健康増進・健康診査施設	施設管理主体	指定管理者:(財)福井県健康管理協会
設置の目的	健康で生きがいのある県民生活の確保に資する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延7,306.67㎡ 事務室、業務室、身体測定室、運動指導室、各検診室、栄養教室、研修室、会議室等		
職員数	指定管理者(職員26人)		

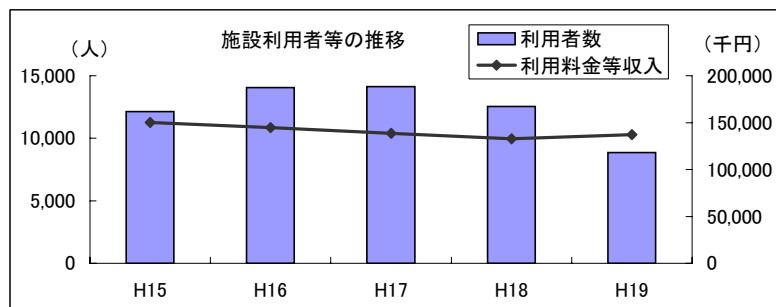
利用状況等

	H15	H16	H17	H18	H19
利用者数(人)	12,130	14,054	14,134	12,539	8,854
健康診査	5,116	5,335	4,858	5,111	5,253
健康教室等	7,014	8,719	9,276	7,428	3,601

利用者負担(利用料金)等

利用料金	健康診査	各種
	会議室	各種

※利用料金は、(財)福井県健康管理協会のHPを参照してください。



利用状況の推移	<p>平成6年7月の開館以来、県民健康センターの利用者数は、17年度までは増加傾向にありましたが、18年度以後、介護保険法改正の影響による市町からの機能回復訓練業務の受託減、事業所からの健康教室等の受託減などによって減少傾向にあり、19年度は対前年比29.4%減となっています。</p> <p>ただし、健康診査の利用状況については、17年度以後、増加傾向となっています。19年度は5,253人で、開館当初(平成7年度)の3,399人に比べ5割の増加となっています。</p>
---------	--

施設の特徴

健康診査の実施

人間ドックや生活習慣病予防健診、がん検診など各種健康診査を実施しています。



健康増進に向けた指導

健診結果に基づき運動や栄養、休養について指導しています。

各種健康教室の実施

メタボリックシンドローム予防や女性の健康づくり、栄養教室など各種健康教室を開催しています。



健康相談の実施

健康に関して電話または来所による個別の相談に応じています。

運動障害回復訓練の実施

身体に障害を持つ人や障害の恐れのある方を対象に機能回復訓練や相談を行っています。

HPアドレス http://www.vcnet.fukui.fukui.jp/kenmori/shisetsu/nav_kenmin.html

平成19年度の特徴について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から20年度まで(財)福井県健康管理協会が「ふくい健康の森」の指定管理者として指定を受け、けんこうスポーツセンターや生きがい交流センターなどとともに本施設の管理運営を行っており、健康診査を軸とした健康づくりの中核施設として事業を展開しています。 具体的には、生活習慣病をチェックする総合的な健康診査や人間ドック、動脈硬化・骨密度の測定など、県民のニーズに応じた各種健康診査を実施しており、19年度の受診者数は5,253人(対前年比 102.8%)となっています。 また、健康指導教室や禁煙教室、クッキング教室、肥満教室などの各種健康教室等を開催し、健康づくりを目指す県民の皆様の取組みを支援しており、19年度の参加者は1,253人(対前年比 68.5%)となっています。 さらに、市町からの受託で、運動障害者に対する機能回復訓練のメニューの作成、指導・相談等を実施しており、19年度は2,198人(対前年比 41.7%)となっています。
------	---

ふくい健康の森
県民健康センター(2/2)

行政コスト計算書(平成19年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	10,423	2.7%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	10,423	2.7%	-
物にかかるコスト	物件費	186,235	38.0%	140.1%
	維持補修費	3,064	0.8%	154.4%
	減価償却費	164,022	42.2%	100.3%
	計	353,321	81.0%	118.4%
その他	公債費(利子)	24,588	6.3%	84.4%
	その他	0	0.0%	-
	計	24,588	6.3%	84.4%
合計		388,332	100.0%	118.5%
収入	利用料等収入	0	0.0%	-
	その他収入	0	0.0%	-
	一般財源	388,332	100.0%	118.5%

バランスシート(平成20年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	1,883,019	93.5%	固定負債	682,461	90.1%
うち建物	1,629,320	91.7%	うち起債残高	682,461	90.1%
うち設備	253,699	107.2%			
投資等	0	-	流動負債	74,679	61.7%
流動資産	0	-	正味資産	1,125,879	99.1%
計	1,883,019	93.5%	計	1,883,019	93.5%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H19	H18	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	2,309	2,461	93.9%
県民1人あたり将来負担額	837	636	131.6%
世代間負担率	59.8	56.4	106.2%

バランスシート、行政コスト計算書の特色	<ul style="list-style-type: none"> ●物件費、維持補修費の増 …健康診査に要する医療機器が多く、それらの設備について老朽化が進んでいるため、更新が余儀ない状況となっており、物件費が高く(構成比38.0%、対前年比140.1%)なっています。また、施設の維持補修費も前年より増加(154.4%)しています。 ●利用料金収入の増 …指定管理者制度の導入で、利用料金等収入は0(利用料金収入を差し引いて指定管理料を支払う。)となっていますが、収入自体は、前年より健診受診者増の影響で103.2%と増加しています。 ●行政コストは対前年18.5%増 …利用料金収入は増えましたが、物件費等の高騰で、行政コストとしては18.5%の増となり、県民1人あたりコストも18.5%増となっています。
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●各種健康診査 …受診者のニーズに応じた健康診査のメニューの提供により、年間約5000人の県民に健康診査を実施しています。 ●健康教室・相談 …医師や栄養士など専門職員による健康づくりに関する無料相談への対応や肥満教室、禁煙セミナーなどの健康づくりに関する各種教室を開催しています。 ●機能回復訓練 …運動障害の方への機能回復訓練を実施しています。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●他施設と連携した魅力あるサービスの提供 …「健康の森」はすべての県民に最大限のサービスを提供することが求められる公の施設であり、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センター(温泉)と連携を密にしながら、魅力ある取組み・サービスの提供に努める必要があります。 ●多様なニーズへの対応 …県民健康センターとしても、単に健診や健康教室を行うだけの施設ではなく、健康長寿への志向が高まる中、利用者の多様なニーズに対応できるような創意工夫が必要です。
今後の事業方針取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●他施設との連携による効果的、効率的事業展開 …「健康の森」内の他の施設と一体となって効果的、効率的な事業の展開を図り、より一層の利用促進を図ります。介護保険法への移行に伴う機能回復訓練の減が予想される中、新たな需要の掘り起こしに努め、現状の利用者数維持を目指していきたいと考えます。 ●ニーズを的確に捉えた取組みの促進 …今後もより多くの県民の皆様にご利用いただけるよう、ニーズを的確に捉えた事業を企画・実施していきます。また、県民健康センターを活用し、健康長寿に関連するイベントを開催して、地域住民に施設のPRを行ってまいります。

